

KGビジネスプランコンテスト学生実行委員会とは

私たち KG ビジネスプランコンテスト学生実行委員会は、年一回大学で行われるビジネスプランコンテストの運営をメインとし、他にも外部から招いた起業家の方たちの講演会や実践型起業イベント、アイデアワークショップなどの企画・運営に携わる団体です。私たち自身も外部のイベントに参加するなど、社会に貢献できる起業家精神を身に付けるため、日々楽しみながら活動し、SNS でも積極的に情報発信しています。

2019年度の活動方針

私たちは今年度の活動方針を「development and break through」(発展と革新的な飛躍)と決定しました。

今年で14回目を迎える「KGビジネスプランコンテスト」ですが、社会の変化とともにビジネスプランコンテストのあり方も徐々に変化しています。今回は「社会課題を解決するためのビジネスプラン」を募集し、ビジネスプランをより考えやすく、次に繋げやすいものにする事で、「KGビジネスプランコンテスト」を『起業の入口』として、より多くの人々が興味を持ち、参加することを目標として、さらなる発展を目指しています。

年間スケジュール (予定)

- 5月 『KGx起業女子』交流会イベント Vol.2
- 7月 KGビジネスプランコンテスト募集開始
KG Startup Days
- 9月 企業との連携によるプレゼン大会
「事業計画書」書き方講座
- 11月 企業xベンチャーの対談
KGビジネスプランコンテスト最終審査会

KGビジネスプランコンテスト学生実行委員募集

『KGビジネスプランコンテスト学生実行委員会』は、関西学院大学の学生にビジネスや起業に対する関心を持ってもらい、関西学院大学における起業文化創出を推進すべく活動しています。本コンテストの開催の他にも、さまざまなイベントを企画・運営しています。

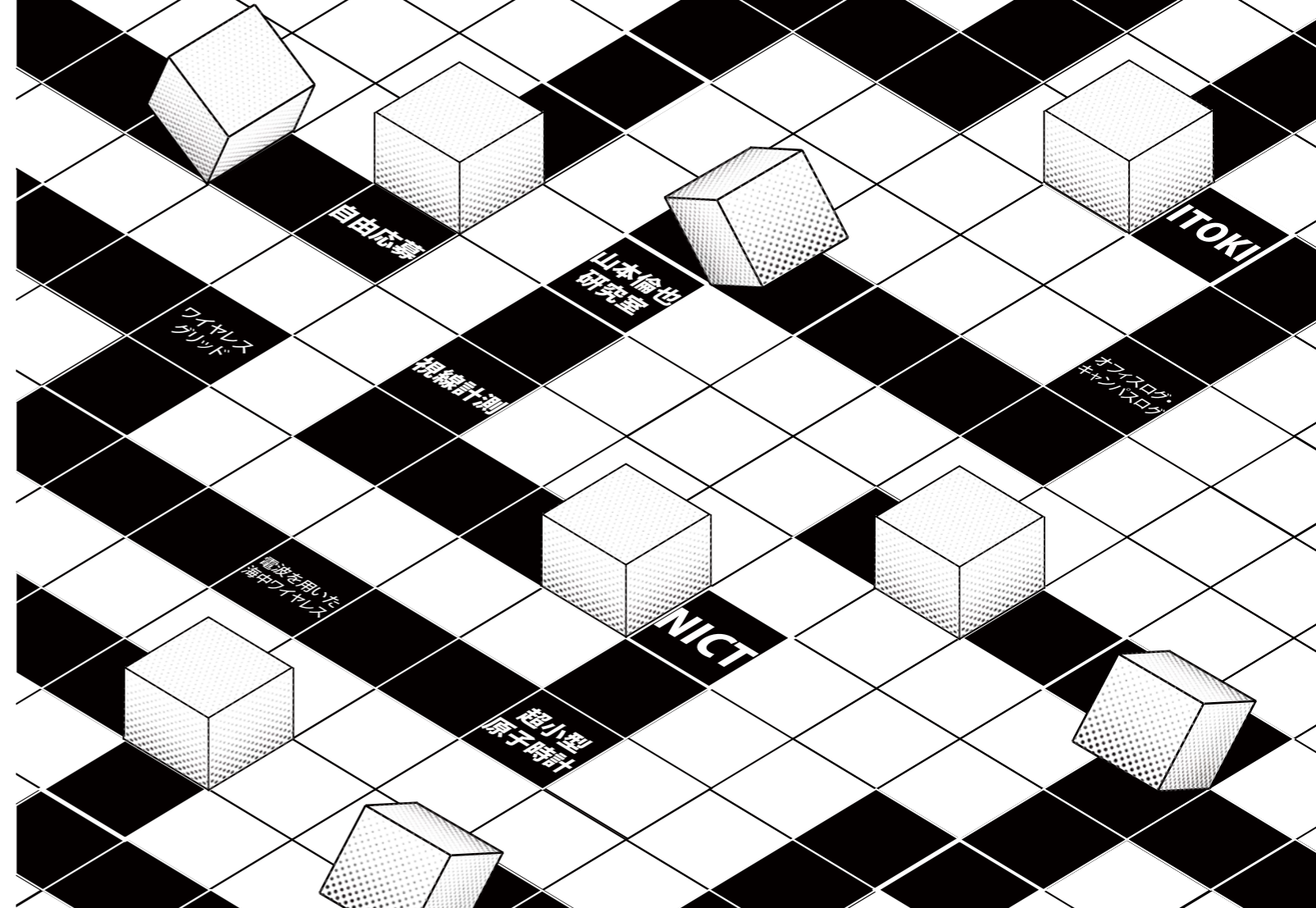
興味を持たれた方は、是非一度ご連絡ください。

連絡先 : kgbpc@kwansei.ac.jp @kgbpc KGビジネスプランコンテスト @kgbpc2018

「KGビジネスプランコンテスト」事務局

 関西学院大学 研究推進社会連携機構

TEL : 0798-54-6890 E-mail : kgbpc@kwansei.ac.jp HP : http://www.kwansei.ac.jp/shakairenkei/



社会課題を解決する新たな事業を!

自ら課題を発見し、主体的に行動のできる、リーダーシップ型人間を応援しています!

KGビジネスプラン コンテスト2019

KANSAI STUDENTS PITCH Grand Prix 2020

出場権獲得の
チャンスあり!

「令和元年度起業家甲子園」近畿地区大会「ミライノピッチ」

他、協力機関、企業による表彰あり!

募集期間 2019年 7/1^日 ~ 10/8^日 必着

■研究推進社会連携機構事務室(西宮上ヶ原キャンパス)提出 16時50分まで
■メール送信 23時59分まで

最終審査会 2019年 11月23日(土・祝)

主催: 関西学院大学研究推進社会連携機構

特別協賛: 関西学院経営者研究フォーラム 協賛: 株式会社池田泉州銀行
協力: 国立研究開発法人情報通信研究機構(NICT)、株式会社イトーキ、関西学院大学理工学部人間システム工学科山本倫也研究室
後援: 関西学院後援会、関西学院同窓会 企画・運営: KGビジネスプランコンテスト学生実行委員会

- 【大学部門】
最優秀賞 [1件] 20万円
優秀賞 [1件] 10万円、他
- 【高校部門】
最優秀賞 [1件] 図書カード3万円
優秀賞 [2件] 図書カード1万円、他
- 【中学校部門】
最優秀賞 [1件] 図書カード3万円
優秀賞 [2件] 図書カード1万円、他

挑戦者求む



KGビジネスプランコンテスト
ホームページ

関西学院大学は次のステージへのステップアップを希望する学生のため、ミライノピッチ、KSPー GP、大阪起業家グローイングアップ事業、先輩起業家とのネットワーキングなどの機会を提供します！

「KGビジネスプランコンテスト2019」実施要領

- 応募資格**
- 【大学部門】「関西学院大学・聖和短期大学」の学生、大学院生（社会人大学院生含む）が代表者となり、二次審査、最終審査会においてプレゼンテーションを行うこと。高校・中学校部門対象者で、本人が特に希望する場合も応募可とする。
- 【高校部門】関西学院高等部、関西学院千里国際高等部、
関西学院大阪インターナショナルスクール高等部、啓明学院高等学校、
三田学園高等学校（関学クラス）、帝塚山学院高等学校（関学コース）
- 【中学校部門】関西学院中学部、関西学院千里国際中等部、
関西学院大阪インターナショナルスクール中等部、啓明学院中学校、
帝塚山学院中学校（関学コース）

※個人、チームどちらでの参加もOK

応募部門 【大学部門】「技術シーズ活用型」(①～⑤)、「自由応募型」(⑥)のいずれかを選択して作成する『社会課題を解決するためのビジネスプラン』を募集する。

(1) 技術シーズ活用型

社会課題を解決するために①～⑤の技術シーズを活用し、ビジネスプランを作成する。

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）

- ①超小型原子時計：「米一粒の大きさの原子時計、どんなものにも正確な時計が入る!？」
- ②電波を用いた海中ワイヤレス：「海中での電波伝搬を測定するための技術や測定装置」
- ③ワイヤレスグリッドの研究開発：「モノたちだって通信したい!」～IoT時代の無線通信技術～株式会社イトーキ
- ④オフィスログ・キャンパスログ：オフィスやキャンパスでセンシングした、ワーカーや学生の『行動データ』、そして、オフィスやキャンパスの『環境データ』や、ワーカーや学生の『パーソナルデータ』を掛け合わせた指標を利活用した新しいサービス

関西学院大学理工学部人間システム工学科山本倫也研究室

- ⑤視線計測：「人がどこを見ているか」を調べることができる技術

(2) 自由応募型

- ⑥社会課題を解決するビジネスプランを自由に作成する。

【高校部門・中学校部門】「技術シーズ活用型」(①～⑤)、「自由応募型」(⑥)のいずれかを選択して作成する『社会課題を解決するためのビジネスプラン』を募集する。

(1) 技術シーズ活用型

社会課題を解決するために①～⑤の技術シーズを活用し、ビジネスプランを作成する。

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT）

- ①超小型原子時計：「米一粒の大きさの原子時計、どんなものにも正確な時計が入る!？」
- ②電波を用いた海中ワイヤレス：「海中での電波伝搬を測定するための技術や測定装置」
- ③ワイヤレスグリッドの研究開発：「モノたちだって通信したい!」～IoT時代の無線通信技術～株式会社イトーキ
- ④オフィスログ・キャンパスログ：オフィスやキャンパスでセンシングした、ワーカーや学生の『行動データ』、そして、オフィスやキャンパスの『環境データ』や、ワーカーや学生の『パーソナルデータ』を掛け合わせた指標を利活用した新しいサービス

関西学院大学理工学部人間システム工学科山本倫也研究室

- ⑤視線計測：「人がどこを見ているか」を調べることができる技術

(2) 自由応募型

- ⑥社会課題を解決するビジネスプランを自由に作成する。

応募方法

所定の事業計画書（<http://www.kwansei.ac.jp/shakairenkei/>）に入力のうえ、①～③のいずれかの方法でご応募ください。

- ①研究推進社会連携機構宛メール送信（kgbpc@kwansei.ac.jp）
- ②印刷して研究推進社会連携機構（西宮上ヶ原キャンパス 本部棟2階）に持参
- ③印刷して研究推進社会連携機構に郵送

※郵送先 〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155

関西学院大学研究推進社会連携機構 KGBPC事務局係

審査基準

“Mastery for Service”の精神を基盤とし、以下の3つの基準で審査します。

- ・社会課題を解決するための事業であること。
- ・新規性・独創性があること。
- ・事業化の可能性が高いこと。（活用する技術シーズやビジネスモデルが明確であるか、市場性や収益性があるか。これらについては検証が行われていることが望ましい。）

選考スケジュール

- ①一次審査（書類審査）：10月25日（金）
- ②ブラッシュアッププログラム：11月1日（金）～11月8日（金）（予定）
書類審査を通過した作品に対して、公開プレゼンテーション審査に向けて作品をブラッシュアップしていくためのサポートをします。
- ③二次審査（プレゼンテーション審査）：11月9日（土）13時～
- ④最終審査会進出者対象メンタリング（大学部門のみ）：11月15日（金）～11月20日（水）（予定）
- ⑤最終審査（公開プレゼンテーション審査）：11月23日（土・祝）10時～

審査員

一次審査（書類審査）

KGIビジネスサポート委員会（※）

（※）関西学院大学、（株）池田泉州銀行で構成。

二次審査（プレゼンテーション審査）（大学部門のみ）

KGIビジネスサポート委員会、関西学院大学OB・OG起業家（予定）

最終審査（公開プレゼンテーション審査）

関西学院大学OB・OG起業家等（予定）※決定次第、「KGビジネスプランコンテスト」ホームページで公開

注意

- ・プランはオリジナルのものに限ります。
- ・最終審査会は公開形式で行い、各メディアに広報することがあります。特許等取得を検討しているプランについては応募者の責任のもと管理をお願いします。
- ・「技術シーズ活用型」の応募プランに関する知的財産権について、応募者は応募時点で主催者（技術シーズを提供する機関・企業を含む）への譲渡に合意したものとします。